

CU三多摩ニュース No. 8

2016. 2. 26 編集人 小野塚洋行

コミュニティユニオン東京三多摩協議会

〒185-8703 国分寺市光町1-40-12 北多摩西教育会館内

☎・FAX 042-571-1166

Eメール cu3tama@abem.ocn.ne.jp

にし、昨年未までに100人の組織を実現しようと奮闘してきました。

組織拡大は組合員の団結と多くに支援を既存の組合から受けることが何よりも必要でした。そのために仲間の交流を深める学習会と交流を定期的

に開催し、併せて東京土建を中心に組織的支援を何度も要請してきました。また、活動の原点ともいえる労働相談も組合員が中心にし

CU東京三多摩結成半年で 100人突破

コミュニティユニオン(CU)東京三多摩協議会は昨年6月末に結成されました。23区のみだったCU東京の組織を三多摩地域にも結成し、一人でも加入でき、何でも相談できる個人加盟の地域労働組合の活動を全都に広げようということで結成されました。

結成の半年前から準備をし、昨年2月に準備会を立ち上げ、結成に結び付けました。

30人で結成を迎えようという事を取り組みましたが26人でのスタートでした。結成後には労働相談を積極的に取り組むと同時に組織作りを重点

対応し、現在10人を超える人達の要求にこたえてきました。

多くの組合や団体の支援・協力、組合員の団結と拡大の呼びかけが半年で100人を突破する原動力になりました。新春のつどいを110人組織で迎えることができ、その勢いでさらに前進を目指し、結成1周年の今年7月には200人組織を何としても実現する決意です。仲間の皆さんと多くの組合のこれまでの協力に心から感謝を申し上げ、同時に引き続き協力と支援をお願い致します。

CU三多摩協議会三役・執行委員がなぜCUに関わるようになったのか、以前は何をやっていたのかなど

三多摩協議会の活動に参加して

三多摩協議会との出会いは、昨年、偶然に

私は、40年にわたって、自治体の労働運動に関わってきました。職員組合の活動とともに、市役所と関連の団体で働く非正規職員の雇用や待遇問題にとりくんできました。

地域の方から、職場の労働問題で相談できるところが身近にあったらという話を聞き、企業や業種の枠を越えて、だれでも入れる地域の労働組合をつくろうと昨年はじめから「模索」をはじめました。地域労組は、ゼロからのスタートになるため、まったく未踏の分野に足を踏み入れることとなります。「これはこまったことになった」という時に、たまたま、三多摩協議会の結成の準備を聞き、勉強のためにも参加させていただくことにしました。

耳を疑う、地域の労働者の働き方

労働相談にかかわって、地域の労働者の働き方に耳を疑いました。最低賃金ぎりぎりの低賃金、長時間労働、年休なし、残業代未払、日常的なパワハラ、退職金なし、社会保険なしなど、法律はどこへ行ってしまったのかという働かせ方が当たり前になっています。この背景には、法律への無知とともに零細経営の厳しい実態があります。そして、圧倒的多数の地域の労働者は労働組合と無縁です。ブラック企業、ブラックバイト根絶の社会的な声は、これらの地域の労働者まで届いていません。



解決は地域にあると確信

三多摩協議会は、生まれたばかりの組合ですが、進む道は、広大で未開拓です。将来的には、全市町村単位で活動する、地域の労働組合として発展させていかなければなりません。不当な扱いを受けて一人ぼっちで悩んだり、泣き寝入りをする労働者をなくすために、解決は、地域の人たちに支えられた労働組合にあると確信しています。

尼崎 学(三多摩協議会副委員長)



組合員200人の達成をめざして 決意も新たに 2016年新春のつどい

「100人を通過点に200人達成をめざして！」のタイトルが目をついた2月6日（日）、三多摩協議会として初の新春のつどいを北多摩西教育会館にて各界の来賓を含め50人の参加で開催しました。オデン鍋等の手作りもあり、多くの方から期待と協力の声も聞かれ、大いに盛り上がりました。

劇団前進座女優の妻倉和子さんの踊りは圧巻で、会場の雰囲気をも盛り上げました。その後挨拶した方の口もなめらかになり、私たちも頑張るとの決意には「一度口にした事は守れよ」のヤジ、暖かい励ましに役員・事務局一同、大いに励まされました。

三多摩地域の労働者の「駆け込み寺」としての機能を一層高めていく事、憲法破壊のアベ政治を許さない労働組合の一翼として活動していく事も宣言し、三多摩地域にCU東京の存在感をアピールしました。

組織目標では、三多摩協議会結成1周年記念ま

で200人を達成する決意に立ち、年頭から東京土建の各組合や地域の民主団体訪問等も行ってきたところです。大江副委員長が1月26日に、「地域労組として三多摩に設立したCU東京の存在意義」を語り、その場で3人の組合員を拡大したことも話題となりました。

南多摩地域での労働相談会ではシルバー人材センター仕事での労働者性問題もあり、新たな課題に対処する学習会や経験交流も重要になってきています。労働相談は現在、相談者が2ケタを数えています。さらに相談体制を拡充する事と合わせ、各地域にチラシの赤旗新聞折込みや新婦人への申し入れ（女性を通じた相談が多い為）も開始していく予定です。

主な来賓はCU東京本部小倉委員長、高島副委員長、高木書記長、東京土建朝倉副委員長と三多摩各支部の役員、三多摩労連菅原議長（都教組役員）、三多摩法律事務所吉田弁護士、日本共産党田村智子参議院議員、清水秀子都議と3市議会議員、劇団前進座等でした。

（宮本 記）

内部留保を賃金にまわせ

2016春闘が本格化する中で、肥大化する内部留保を賃上げにまわせの声も、強まっています。

内部留保が増え続ける理由は、第一に、賃金の抑制です。経常利益が増えても、株式配当と内部留保の積み上げにまわしています。第二は、法人税の引き下げと租税特別措置による減免です。法人税は、1984年の43.3%から現在は、25.5%に下がっています。第三は、社会保障費における企業負担が他国に比べて低く抑えられているからです。大幅賃上げとSTOP暴走政治「戦争法廃止」で暮らしと憲法を守り奮闘しましょう。

なんでも相談

三多摩協議会は、毎週水・金の午後1時から5時まで、労基法違反の相談、その他のことなど「なんでも相談」を受けています。

☎・Faxは上記